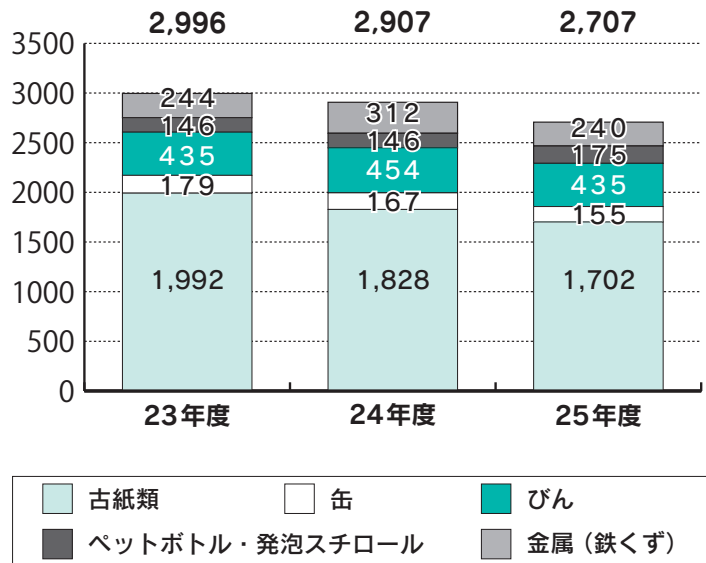


## 資源ごみの売却実績

【図2】と〈表2〉は資源ごみの売却量と売却金額の推移を表しています。24年度と比べてみると、25年度は売却量が200t（約6.9%）減少していますが、売却金額は460万円（約10.2%）増加しています。売却量が年々減少しているのに対して、売却金額に増減があるのは、引取価格を入札で決定しているため、市場取引価格により大きく変動します。

【図2】 資源ごみの売却量の推移（単位：t）



〈表2〉 資源ごみの売却金額の推移（単位：万円）

	古紙類	缶	びん	ペットボトル・発泡スチロール	金属類(鉄くずなど)	合計
平成23年度	2,223	1,282	47	803	1,000	5,355
平成24年度	1,807	992	42	655	1,017	4,513
平成25年度	1,846	1,162	38	929	998	4,973

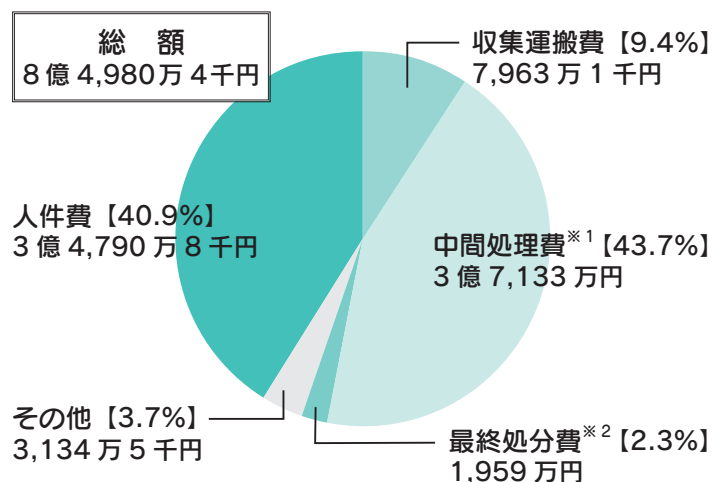
## ごみ処理経費

平成24年度のごみ処理経費は約8億4,980万4千円で、内訳は【図3】のとおりです。これは1世帯当たりで約29,900円、一人当たりでは約13,100円、年間がかかったこととなります。また、1tのごみを処理するのに約31,200円かかったこととなります。

施設整備のほか、収集、焼却、灰の処理、埋め立てなど、ごみを適正に処理するための維持管理費が必要となります。

なお、平成24年度の間接処理費は、老朽化した焼却施設を安全に稼働させるための改修工事費に、多くの費用がかかりました。

【図3】 ごみ処理費の内訳（平成24年度）



※1 中間処理費…焼却・焼却灰処理・改修工事費など

※2 最終処分費…埋立・不燃ごみ処理委託など

世帯数	28,465世帯
人口	65,275人
年間ごみの排出量	27,271 t

（平成25年3月31日現在）